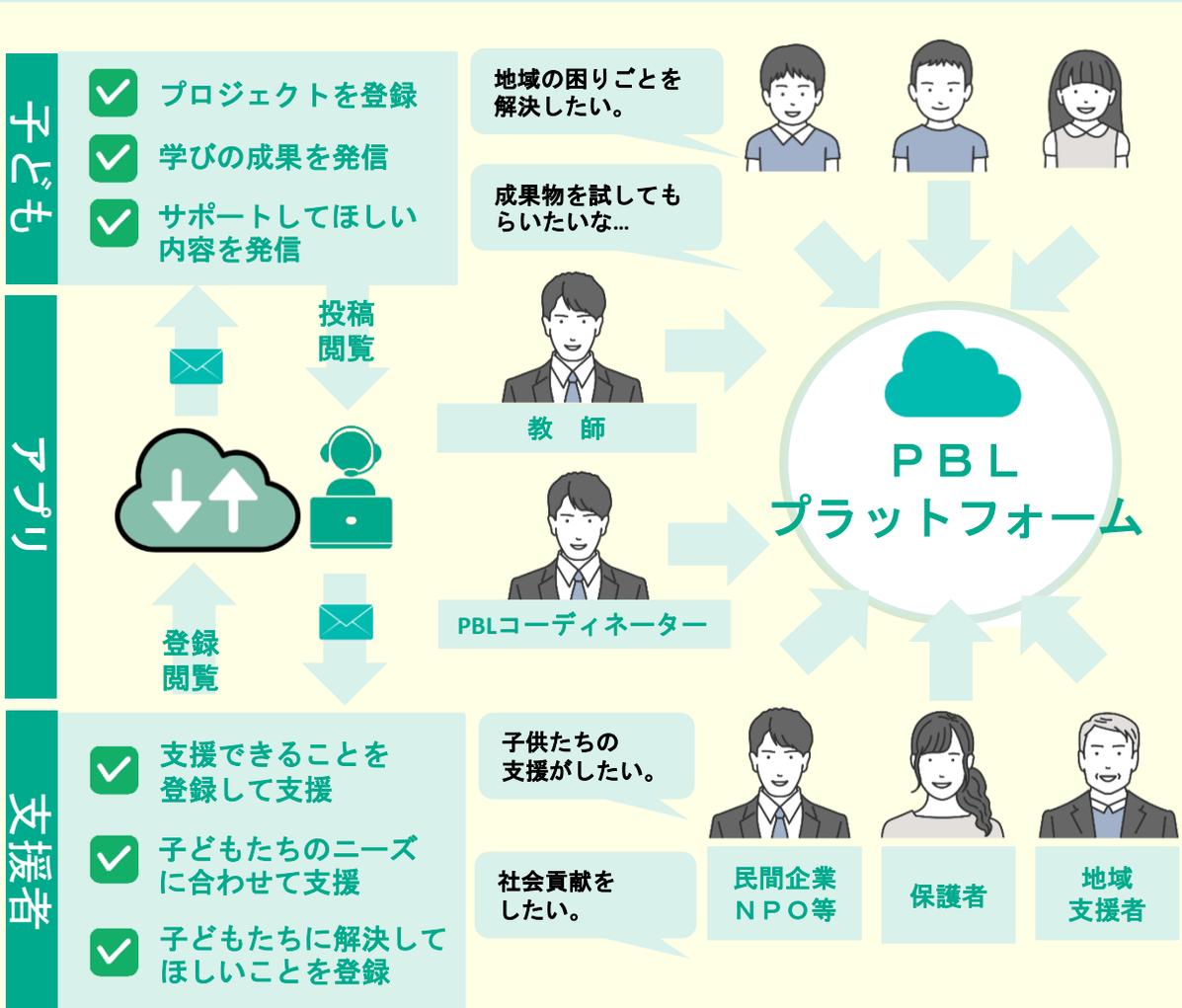


「新たな学びのカタチ」を子どもとともに

The future has already begun

社会的リソースと子どもの学びを「つなぐ」 子どもたちの学びのプラットフォームの構築  
 ～ 学びのコントローラーを教師から子どもへ ～



- Before**
- ▲ 学びの発信は、限られていた。【子ども】
  - ▲ 学びのイメージがつかみにくい。【子ども】
  - ▲ これまでどのようなプロジェクトがあったのか知りたい。【子ども・教師・支援者】
  - ▲ 地域や外部との連携は教師が調整することになり時間が足りない。【教師】
  - ▲ これまでのどのようなプロジェクトがあったかわからない。【支援者】
  - ▲ 子供たちがどのような学びを進めているのか分からない。【支援者】

**Proposal**

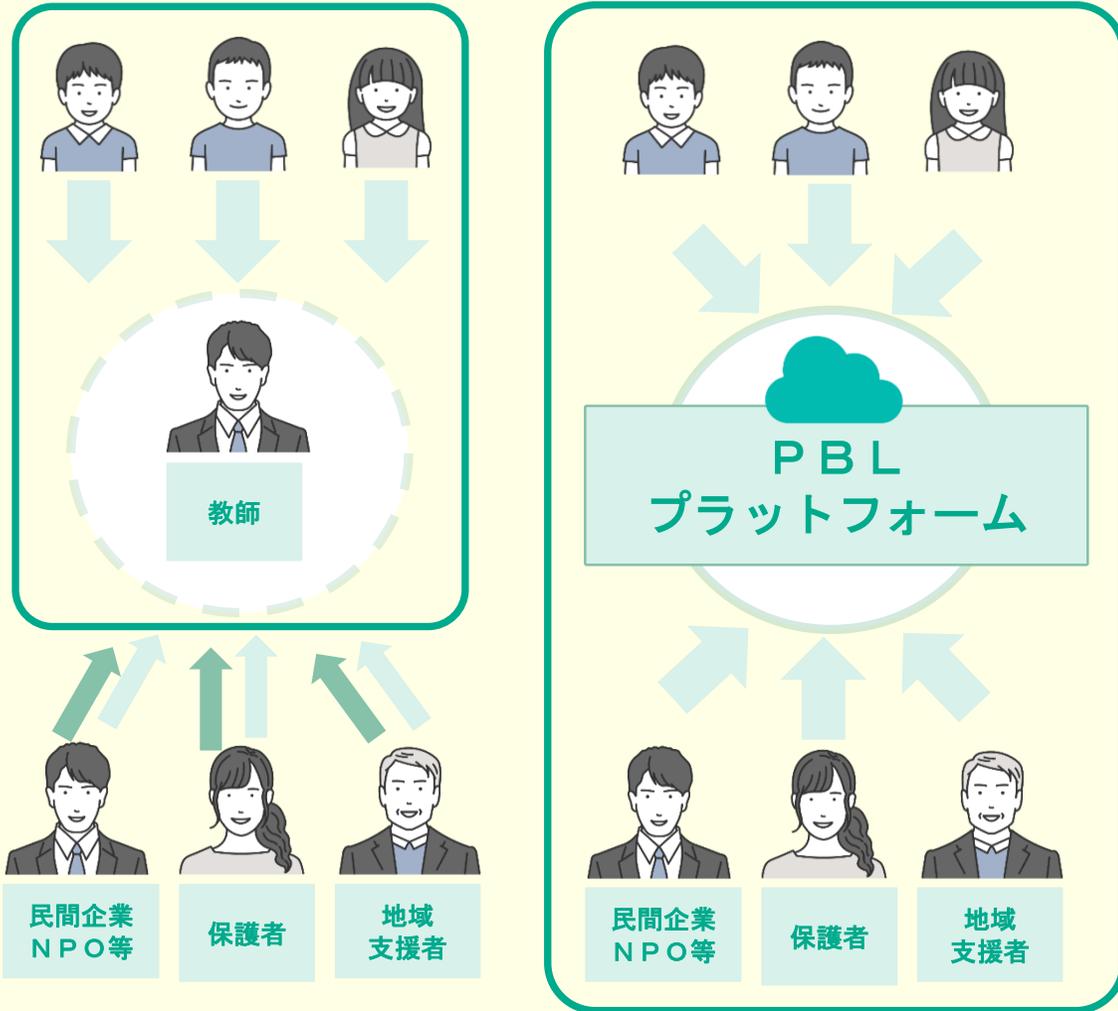
- 概要**
- 【アプリ概要】  
 子どもが学びを発信・子どもがサポートしてほしい内容を発信するプラットフォーム。保護者、地域の人、企業等が授業のサポートなど支援できること、子どもたちに解決してほしい課題などを登録。  
 子ども・支援者の登録内容によってマッチング、お知らせ機能有り。
- プロジェクト一覧（レスポンス機能「興味があります」⇒成果お知らせ）
  - プロジェクト成果（レスポンス機能「いいね」）
  - PBLサポート人材バンク（マッチング機能・お知らせ機能）
  - プロジェクト一緒にやりませんか？協働メンバー募集（掲示板機能）
  - しのめクラウドファンディング（ランニングコスト補填・成果物の提供 等）
  - 教師用PBL研修コンテンツページ・一般用PBL説明コンテンツページ

- 費用**
- PBLコーディネーター(500/年)
  - システム・アプリ構築(3,000/初期)  
SE/システム管理(600/年)  
(個人情報・著作権管理も含む)
  - 利用規約作成・審査(50/年)
- ※単位は千円

- Potential**
- Self-Organized-Learningで協働を促進
  - 戸田市版に発展
  - コラボレーションのチャンスが拡大
  - メタバースによるプレゼン大会の実施 等

# (仮) ※S-Connect 戸田東小学校PBLプラットフォーム構築プロジェクト

これまで「つなぐ」役割は「教師」  
「子ども」や「民間企業・地域・保護者」が主体的につながることができる仕組みが必要



## これまでの状況・課題

### 子ども

- ▲学びのイメージがつかみにくい。
  - ・PBLとはどのような学びなのか。プロセスがわかりにくい。
- ▲これまでどのようなプロジェクトがあったのか知りたい。
  - ・これまでのプレゼン資料を参考にする。
- ▲学びの発信は、限られている。
  - ・探究のプロセスの中で、広く情報を発信する必要がある場合に、手段が限られる。
- ▲成果物を作成する費用を捻出しにくい。

### 教師

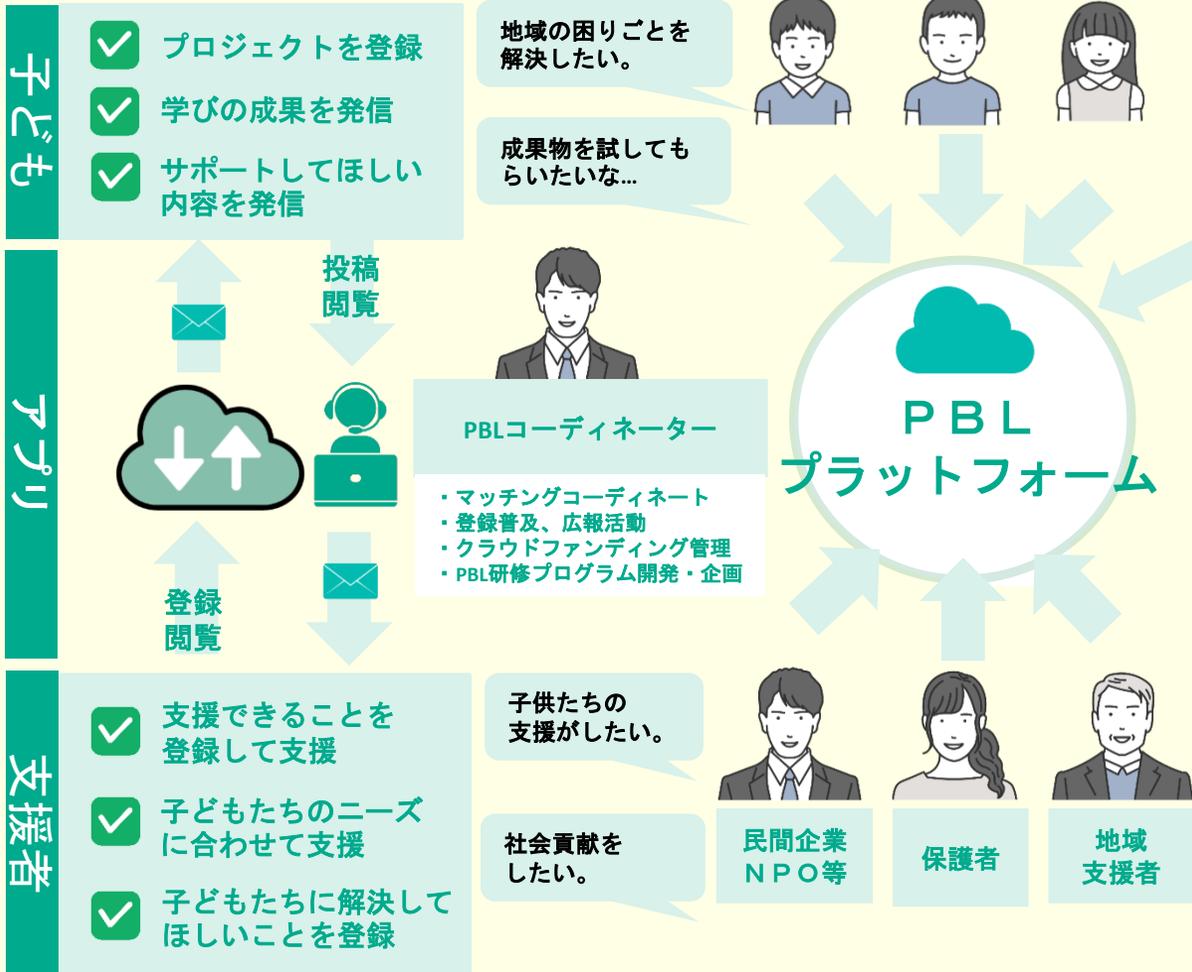
- ▲外部の人的・物的資源を活用しにくい状態である。
  - ・各担任が子どもたちのプロジェクト進行を把握している。
  - ・地域や外部との連携は教師が調整している。
  - ・地域・保護者の情報にアクセスする手段が限られている。
  - ・これまでどのような連携先とどのようなプロジェクトが行われてきたのかわかりにくい。
  - ・新たな連携先等、地域のニーズをリアルタイムで把握することは現状難しい。
  - ・同時に複数のプロジェクトが進行する調整を各担任で行っていく。
  - ・学習を進めるのが「教師主導」になってしまう。

### 地域・企業・保護者 等

- ▲子供たちがどのような学びを進めているのか分からない。
  - ・できる範囲で子どもたちを支援したいと思っている人はたくさんいる。
  - ・協力をしたいが、どのようなことが求められているかわからない。
- ・PBLがどんな学びのプロセスで、何をゴールにしているのかわからない。
- ・子どもや学校と「連携・協働」していく利点がない。

# (仮) ※S-Connect 戸田東小学校PBLプラットフォーム構築プロジェクト

学びを「つなぐ」 子ども・教師・地域を「つなぐ」



**概要**

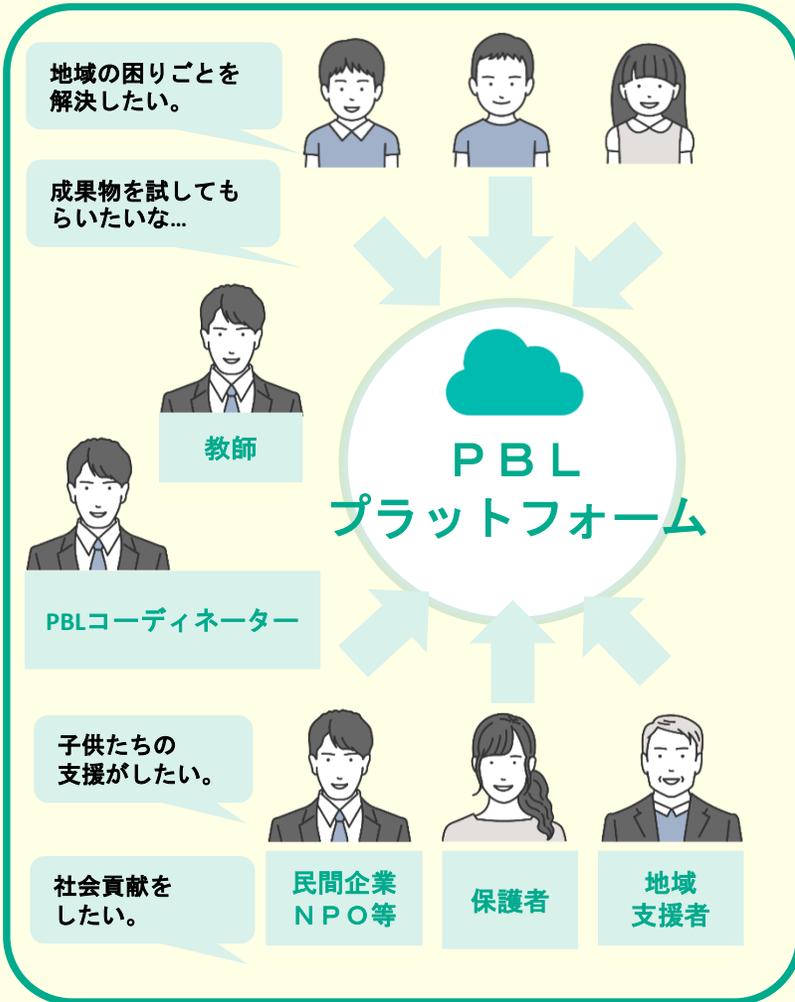
【アプリ概要】  
 子どもが学びを発信・子どもがサポートしてほしい内容を発信するプラットフォーム。保護者、地域の人、企業等が授業のサポートなど支援できること、子どもたちに解決してほしい課題などを登録。  
 子ども・支援者の登録内容によってマッチング、お知らせ機能有り。

- プロジェクト一覧（レスポンス機能「興味があります」⇒成果お知らせ）
- プロジェクト成果（レスポンス機能「いいね」）
- PBLサポート人材バンク（マッチング機能・お知らせ機能）
- プロジェクト一緒にやりませんか？協働メンバー募集（掲示板機能）
- しののめクラウドファンディング（ランニングコスト補填・成果物の提供 等）
- 教師用PBL研修コンテンツページ・一般用PBL説明コンテンツページ

**費用**

<p>【初期費用（4,150千円）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ PBLコーディネーター(500/年)</li> <li>□ システム・アプリ構築(3,000/初期)</li> <li>□ SE/システム管理(600/年) (個人情報・著作権管理も含む)</li> <li>□ 利用規約作成・審査(50/年)</li> </ul> <p>※単位は千円</p>	<p>【2年以降（0～1,100千円）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ コーディネーター(500/年)</li> <li>□ SE/システム管理(600/年)</li> </ul> <p>※PBLコーディネーターがクラウドファンディングについてマネジメント</p>
--	--

## 学びのコントローラーを教師から子どもへ



### ◎期待される効果・発展的展開

#### 子ども

- ◎主体的に学びにアクセス。
- ◎対象が「ターゲット」から「ペルソナ」へ
- ◎自ら「つながる」ことができるようになり、新たな可能性への気づき
- ・PBLプラットフォームを通じて、プロジェクトに必要なメンバーを組織、進行管理

#### 教師

- ◎子どもの一人ひとりの学びの充実に向けたファシリテートの充実
- ◎「学びの伴走者としての教師」の役割に専念
- ◎プロジェクトごとの費用に係る課題解決
- ◎異動に伴う「継続性」の課題解決
- ・子どもの学びとともに教師の学びもつながる場所に

#### 地域・企業・保護者 等

- ◎子どもたちの「新たな学び」の促進に協力
- ◎学校への「支援」から「連携・協働」体制へ
- ◎学校と主体的に「つながる」ことが可能に。
- ◎地域・企業・保護者の専門的な知識や技術を学校教育（社会教育）に還元
- ◎子どもたちの「学び」を核とした「つながり」の創出
- ◎生涯学習の促進
- ・コラボレーションのチャンスの拡大。

### Next Stage

#### ▷戸田市版への展開

- ・学校版のプラットフォームの集合体として
- ・戸田市への拡大版として

#### ▷メタバースによるプレゼン大会の実施

- ・オンラインイベント化
- ・プラットフォーム上からアクセス可能に
- ・児童生徒、関係協力者もアクセスしやすく、イベントをもとにした交流も可能に

「新たな学びのカタチ」を子どもとともに

The future has already begun